

2017年6月21日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

社外取締役の選任について

河合江理子・京大大学院教授を選任、独立社外取締役増員により経営の独立性を強化

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、本日開催の定時株主総会において取締役選任議案を決議し、新たに河合江理子氏(京都大学大学院総合生存学館教授)が社外取締役として選任されましたので、お知らせいたします。

河合氏は、米ハーバード大学で学位、フランスの欧州経営大学院(INSEAD)でMBA(経営学修士)を取得後、マッキンゼー(パリオフィス)で経営コンサルタントとして、英国の投資銀行S.G.ウォーバーグではファンド・マネジャーとして、さらにフランスの証券リサーチ会社でエコノミストとして勤務したのち、ポーランドの山一証券の合併会社で民営化事業に携わりました。1998年からは国際公務員としてBIS(国際決済銀行)やOECD(経済協力開発機構)で職員年金基金の運用業務に従事し、OECD在籍時にはIMF(国際通貨基金)のテクニカルアドバイザーとしてフィジー共和国などの中央銀行の外貨準備運用に対する助言業務に携わるなど、30年に及ぶグローバルでの投資・資産運用業務の経験を有しています。2012年に京都大学教授に就任し、現在は世界で活躍できるグローバルリーダーの養成をめざして、グローバル・コミュニケーションおよびマネジメント・スキルを研究しています。

このたびの河合氏の就任により、日興アセットの取締役会は取締役10名中、林森成氏(2011年9月就任)、富樫直記氏(同年3月就任)、エヌ・パーカー・シムズ氏(2015年5月就任)ならびに河合氏の計4名が社外取締役となります。日興アセットは真に独立した社外取締役を擁することにより、資産運用会社としての経営・運営の独立性と透明性の確保を図ってまいります。

日興アセットは資産運用会社として、お客様の利益を最優先に行動することを使命とし、フィデューシャリー原則とESG(環境・社会・ガバナンス)原則を当社の企業理念の最高位に位置づけています。こうした理念のもと、業界最高水準のガバナンス態勢をいっそう強化する取り組みを絶え間なく続けてまいります。社外取締役による経営への牽制機能の更なる充実を図り、高い透明性を維持することは、こうした取り組みの重要な部分を占めるものです。

日興アセット代表取締役会長のデービッド・セマイヤは、「適切で責任あるガバナンスは、弊社がいかに経営し、また投資に臨むかにおいて、その根幹となるものです。このたびの社外取締役の選任は弊社のフィデューシャリー・デューティーへのコミットメントを示す重要な側面のひとつであり、また、実効性あるコーポレート・ガバナンスをより確かなものとするものです」と述べています。

日興アセット代表取締役社長兼CEOの柴田拓美は、「グローバル国際金融・投資分野において、他に例を見ない卓越した経験を誇る河合氏を日興アセットの取締役会に迎えることができ、非常に光栄です。幅広い見識に基づき、日興アセットのコーポレート・ガバナンスの充実、また、取締役会による監督機能のいっそうの強化にご貢献いただけるものと確信しています」と述べています。

以上

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

55年を超える実績を誇り、30以上の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁して、200名超の運用プロフェッショナルが約20.3兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計300社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2017年3月末現在のデータ

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会